

資料提供	
平成23年2月15日	
担当	境港管理組合総務課 片寄・谷田
電話	0859-42-3705

### 平成22(2010)年 境港の取扱貨物数量について<速報値>

○全体貨物量は、368万2,428トン（伸び率15.5%増）と増加。特に、輸出貨物は、21万920トン（同126.4%増）と前年の2倍以上の伸びとなり、外貿全体でも、190万2,003トン（同42.3%増）と1.4倍以上の伸びを示した。

○コンテナ取扱個数（実入り）は、1万7,774TEU（伸び率45.6%）と定期航路開設以来最高の取扱個数を記録。韓国航路は、初めて1万の大台を超え、1万3,615TEU（伸び率57.7%増）と過去最高の取扱個数となった。

#### □全体貨物

- ・ 全体貨物量は、3,682,428トンと前年比15.5%の増加。月別の動向を見ると、年当初から、前年に大幅に減った貨物量を回復。年間と通じて、10%以上の高い伸び率となった月が多く見られた。
- ・ 輸出貨物は、紙・パルプや水産品等の増加により、210,920トンと対前年比126.4%と大幅な増加。輸入貨物も、木材チップ、原木等が増加したことにより、1,691,083トンと対前年比36.0%の増加となった。
- ・ 移出は、窯業品、金属くず等の減少により、278,619トンと対前年比4.5%の減少。移入は、セメント、重油等が減少し、1,501,806トンと対前年比3.7%の減少となった。

#### □コンテナ貨物

- ・ コンテナ貨物は、17,774TEUと対前年比45.6%の大幅な増加。定期コンテナ航路の就航以来、最高のコンテナ取扱個数となった。韓国航路は13,615TEUと対前年比57.7%の増加で、初めて1万TEUの大台を超えた。中国航路も4,159TEUと対前年比16.2%の増加となった。
- ・ 輸出は、紙・パルプ、水産品、再利用資材等の増加により、8,872TEUと対前年比77.6%増と大幅な伸びを示した。輸入は、非金属鉱物、鉄鋼、水産品等の増加したことで、8,902TEUと対前年比23.4%の増加となった。
- ・ 月別の推移は、年間を通じ、高い伸び率を示し、特に2～4月にかけては、ほぼ倍増となる高い伸び率を示した。

#### ～主要品目の動向：出入区分別の平成22（2010）年取扱い上位3品種～

##### <全体貨物>

(単位:トン)

外貿		H22年	H21年	伸び率	内貿		H22年	H21年	伸び率
輸出	紙・パルプ	160,088	44,094	263.1%	移出	水	103,961	101,583	2.3%
	非鉄金属	10,982	11,824	-7.1%		重油	68,824	71,373	-3.6%
	水産品	10,311	4,091	152.0%		原木	54,412	46,883	16.1%
輸入	木材チップ	1,141,600	828,777	37.7%	移入	石油製品	926,011	922,739	0.4%
	原木	379,146	294,681	28.7%		セメント	345,927	408,603	-15.3%
	重油	30,689	20,661	48.5%		重油	154,219	161,609	-4.6%

##### <コンテナ貨物>

(単位:TEU)

		H22年	H21年	伸び率			H22年	H21年	伸び率
輸出	紙・パルプ	5,990	2,896	106.8%	輸入	非金属鉱物	1,851	815	127.1%
	水産品	851	347	145.2%		電機機械	1,633	1,994	-18.1%
	非鉄金属	552	582	-5.2%		木製品	754	691	9.1%

\* なお、今回発表する数値は速報値であり、後日、発表する数値と異なる場合がありますのでご了承ください。

\* 国際定期フェリーは、韓国航路に含みます。

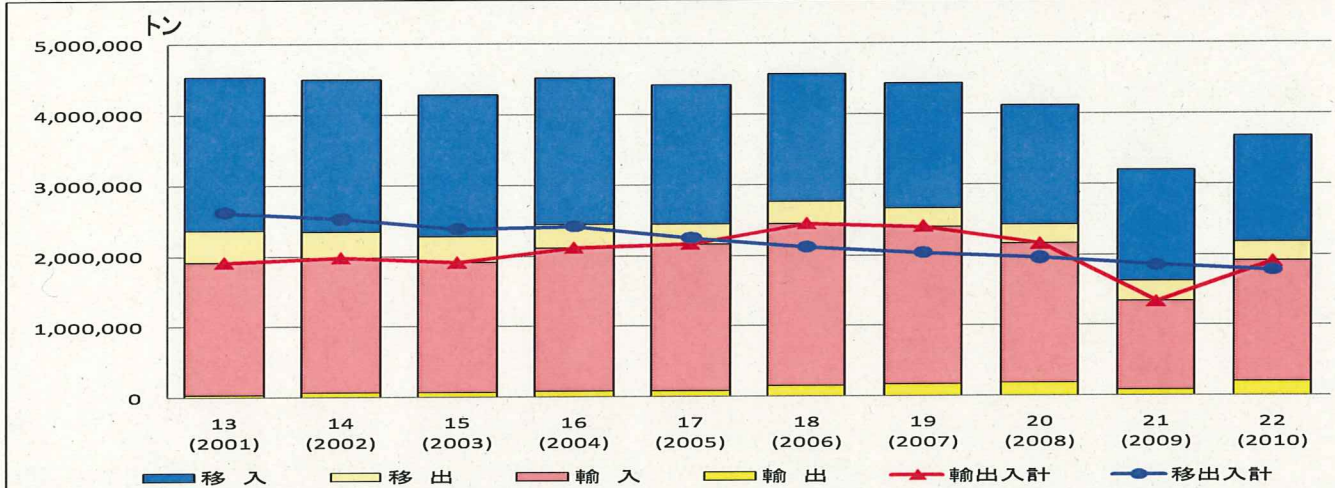
# 【資料】平成22(2010)年 境港の取扱貨物量(全体)の動向

## 全体取扱貨物量 3,682,428 トン(対前年15.5%増)

### ◆過去10年間の取扱貨物量の推移

(単位:トン)

種別	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	21 (2009)	22 (2010)	対前年 伸び率	
外貨	輸出	41,109	68,919	62,725	94,983	85,264	153,772	162,247	181,219	93,154	210,920	126.4%
	輸入	1,868,619	1,905,881	1,843,091	2,014,384	2,072,872	2,288,581	2,236,932	1,972,182	1,243,766	1,691,083	36.0%
	輸出入計	1,909,728	1,974,800	1,905,816	2,109,367	2,158,136	2,442,353	2,399,179	2,153,401	1,336,920	1,902,003	42.3%
内貨	移出	457,294	368,916	364,239	335,590	291,897	312,526	261,847	275,520	291,877	278,619	-4.5%
	移入	2,160,459	2,155,817	2,016,462	2,076,708	1,956,593	1,802,941	1,769,891	1,681,178	1,559,732	1,501,806	-3.7%
	移出入計	2,617,753	2,524,733	2,380,701	2,412,298	2,248,490	2,115,467	2,031,738	1,956,698	1,851,609	1,780,425	-3.8%
合計	4,527,481	4,499,533	4,286,517	4,521,665	4,406,626	4,557,820	4,430,917	4,110,099	3,188,529	3,682,428	15.5%	
対前年伸び率	-5.5%	-0.6%	-4.7%	5.5%	-2.5%	3.4%	-2.8%	-7.2%	-22.4%	15.5%		

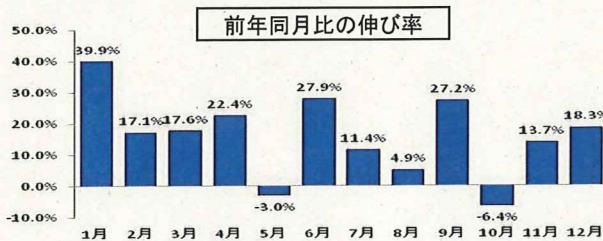


### 【出入区分の状況】

- 外貨** ◆輸出 210,920トン (伸び率126.4%増) → 紙・パルプ11万6千トン増、水産品6千トン増  
 ◆輸入 1,691,083トン (同 36.0%増) → 木材チップ31万3千トン増、原木8万4千トン増  
**合計 1,902,003トン (同 42.3%増)**
- 内貨** ◆移出 278,619トン (同 4.5%減) → 窯業品3万トン減、金属くず6千トン減  
 ◆移入 1,501,806トン (同 3.7%減) → セメント6万3千トン減、重油7千トン減  
**合計 1,780,425トン (同 3.8%減)**

### 【月別の傾向】

年当初から、前年に大幅に減った貨物量を回復。後半は、伸び率は鈍化するものの、10%以上の高い伸び率となった月が多く見られた。



### 【環日本海諸国の貨物量】

4カ国全体で29万1千トンと前年比28.9%の増加。ロシアとの貨物量は減少したものの、中国と韓国で50%以上の大幅な増加となった。

国名	H22 (2010)年	H21 (2009)年	伸び率
中国	192,751 トン	94,636 トン	103.7%
ロシア	42,388 トン	96,043 トン	▲55.9%
韓国	62,041 トン	39,862 トン	55.6%
北朝鮮	-	-	-
計	297,180 トン	230,541 トン	28.9%

# 【資料】平成22(2010)年 境港のコンテナ個数(実入り)の動向

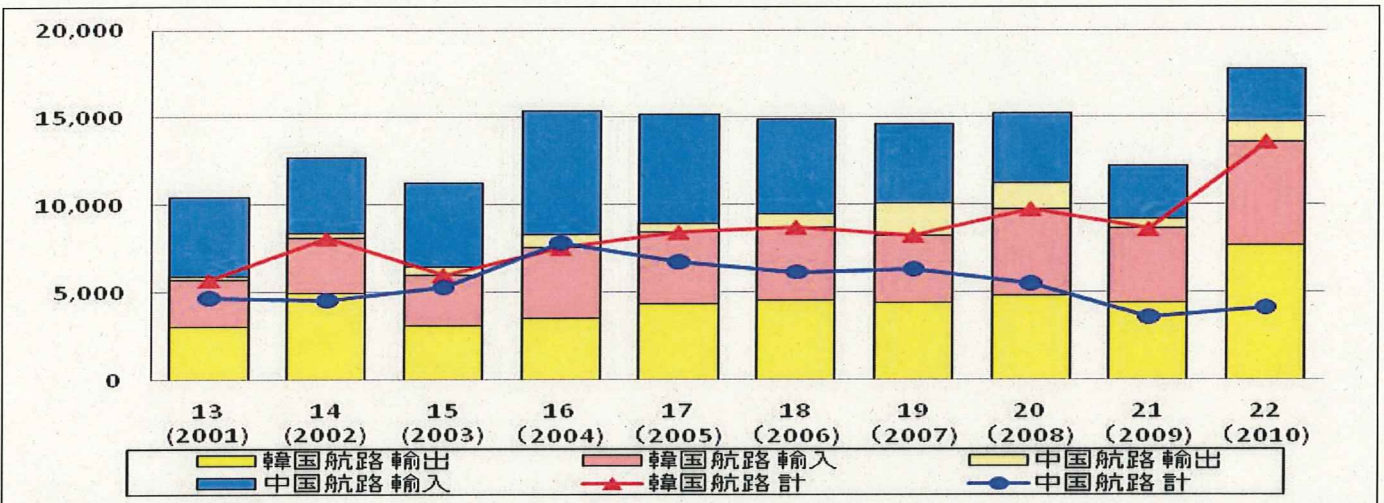
## コンテナ(実入り)個数 17,774TEU(対前年45.6%増)

### ◆コンテナ個数の推移

(単位:TEU)

航路	年	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	対前年 伸び率
		(2001)	(2002)	(2003)	(2004)	(2005)	(2006)	(2007)	(2008)	(2009)	(2010)	
韓国航路	輸出	3,068	4,950	3,132	3,558	4,375	4,523	4,426	4,822	4,401	7,710	75.2%
	輸入	2,664	3,174	2,884	4,000	4,069	4,215	3,849	4,955	4,230	5,905	39.6%
	計	5,732	8,124	6,016	7,558	8,444	8,738	8,275	9,777	8,631	13,615	57.7%
中国航路	輸出	223	295	431	739	474	743	1,830	1,488	594	1,162	95.6%
	輸入	4,474	4,268	4,852	7,102	6,277	5,410	4,500	4,006	2,984	2,997	0.4%
	計	4,697	4,563	5,283	7,841	6,751	6,153	6,330	5,494	3,578	4,159	16.2%
合計	輸出	3,291	5,245	3,563	4,297	4,849	5,266	6,256	6,310	4,995	8,872	77.6%
	輸入	7,138	7,442	7,736	11,102	10,346	9,625	8,349	8,961	7,214	8,902	23.4%
	計	10,429	12,687	11,299	15,399	15,195	14,891	14,605	15,271	12,209	17,774	45.6%
対前年伸び率		17.4%	21.7%	-10.9%	36.3%	-1.3%	-2.0%	-1.9%	4.6%	-20.1%	45.6%	

【コンテナ航路開設年 ■中国航路H7.5～ ■韓国航路H7.8～(国際フェリー含む)】

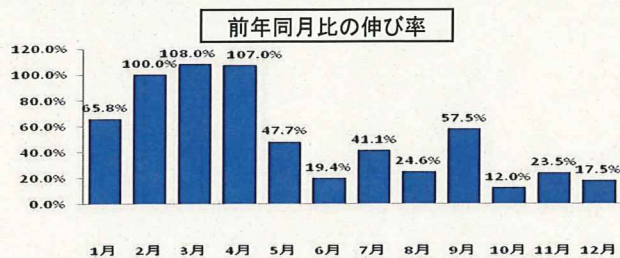


### 【航路別の状況】

- 韓国航路** ◆輸出 7,710TEU (伸び率 75.2%増) → 紙・パルプ 2,542TEU増、水産品 488TEU増  
 ◆輸入 5,905TEU (同 39.6%増) → 非金属鉱物 946TEU増、鉄鋼 410TEU増  
**合計 13,615TEU (同 57.7%増)**
- 中国航路** ◆輸出 1,162TEU (同 95.6%増) → 紙・パルプ 552TEU増、再利用資材 56TEU増  
 ◆輸入 2,997TEU (同 0.4%増) → 鉄鋼 202TEU、水産品 93TEU増  
**合計 4,159TEU (同 16.2%増)**

### 【月別の傾向】

年当初から、前年に減った取扱い個数のほぼ倍増となる伸び率となる。後半は、伸び率は鈍化するものの、10%以上の高い伸び率となった。



### 【コンテナ貿易相手国上位国】

上位の貿易相手国に変化はないものの、タイの増加がアメリカを上回り、中国、韓国に次ぐ貿易相手国になった。

順位	国名	H22 (2010)年	H21 (2009)年	伸び率
1	中国	8,654 TEU	7,076 TEU	22.3%
2	韓国	2,060 TEU	1,472 TEU	39.9%
3	タイ	1,759 TEU	768 TEU	129.0%
4	アメリカ	1,730 TEU	776 TEU	122.9%
5	フィリピン	773 TEU	681 TEU	13.5%